
**Japanese Unexamined Utility Model Application,
First Publication No. S58-38932
Date of First Publication: March 14, 1983**

**Japanese Utility Model Application No. S56-133092
Application Date: September 9, 1981**

Title of the Invention: Flat ribbon type cable

Inventors: Katahira, et al.

Applicant: Fujikura Electric Wire Corporation

Claims:

- (1)A flat ribbon type cable characterized in that insulation core wires 3 having a conductive body 1 and a plastic insulation coating 2 which coats over the conductive body 1 are parallel-located at regular intervals, and
the insulation core wires 3 are integrally-fixed each other through shield layers 4 made from conductive plastic.

⑯ 日本国特許庁 (JP)
⑰ 公開実用新案公報 (U)

⑮ 実用新案出願公開
昭58—38932

⑯ Int. Cl.³
H 01 B 7/08
11/00

識別記号 庁内整理番号
7364—5E
7364—5E

⑯ 公開 昭和58年(1983)3月14日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ フラット・リボン型ケーブル

⑮ 実 願 昭56—133092

⑮ 出 願 昭56(1981)9月9日

⑮ 考案者 片平忠夫
佐倉市六崎1440藤倉電線株式会
社佐倉工場毎

⑮ 考案者 鈴木秀雄

佐倉市六崎1440藤倉電線株式会
社佐倉工場内

⑮ 出願人 藤倉電線株式会社
東京都江東区木場1丁目5番1
号

⑮ 代理人 弁理士 阿部稔

⑯ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 導体1のまわりにプラスチック絶縁被覆2が形成された絶縁心線3が複数本、一定の間隔で平行に配置され、かつこれ等の絶縁心線は導電性プラスチックより成るシールド層4を介して互に一体に固着されていることを特徴とするフラット・リボン型ケーブル。
- (2) 前記シールド層4の横断面形状が絶縁心線3の横断面形状とほぼ等しく成形されて成る実用新案登録請求の範囲第1項記載のフラット・リボン型ケーブル。
- (3) 前記シールド層4がほぼシート状に形成されて成る実用新案登録請求の範囲第1項記載のフラット・リボン型ケーブル。
- (4) フラット・リボン型ケーブルの長手方向の一

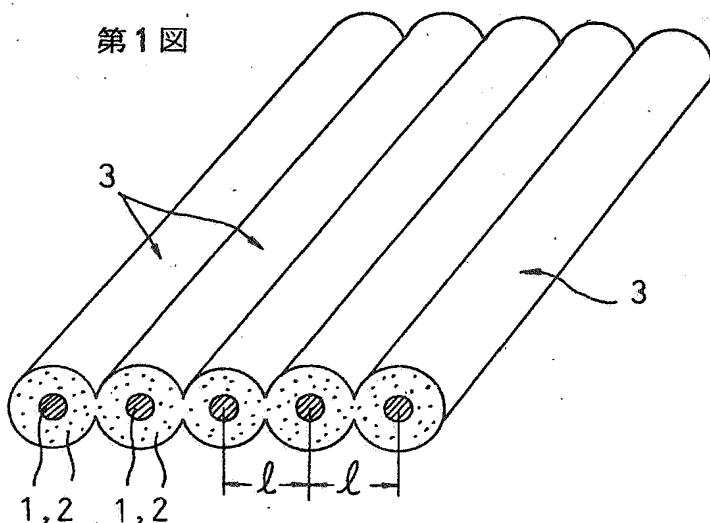
部に、少なくとも1枚の金属箔5が被覆されて成る実用新案登録請求の範囲第1項または第2項記載のフラット・リボン型ケーブル。

図面の簡単な説明

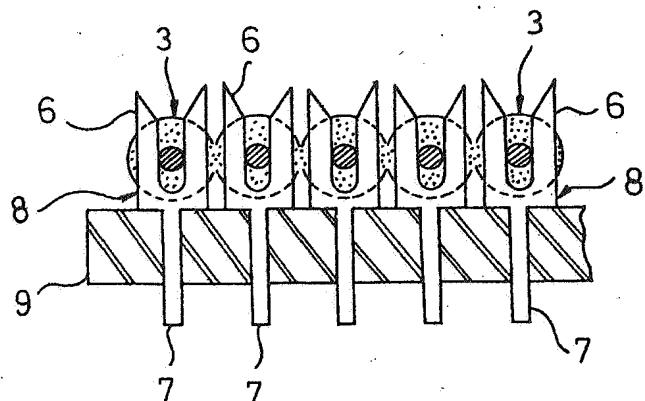
第1図は従来のフラット・リボン型ケーブルを示す斜視図、第2図は公知の多対コネクタによるフラット・リボン型ケーブルの接続状況を示す横断面図、第3図はこの考案の一実施例を示す横断面図、第4図はこの考案の他の実施例を示す横断面図、第5図はさらにこの考案の他の実施例を示す平面図である。

図において、1は導体、2はプラスチック絶縁被覆、3は絶縁心線、4はシールド層、5は金属箔である。

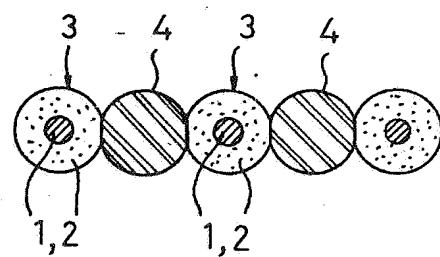
第1図



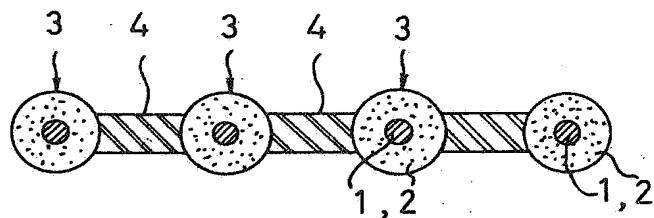
第2図



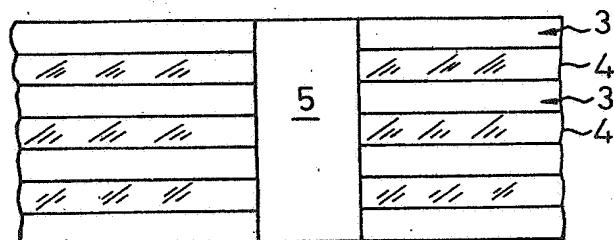
第3図

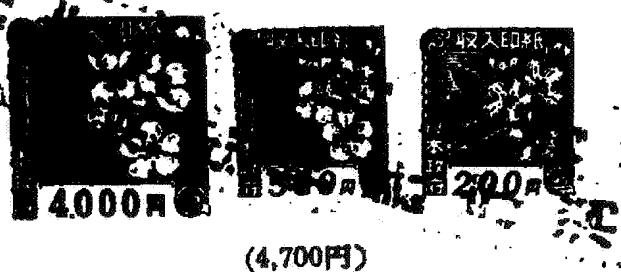


第4図



第5図





実用新案登録願

昭和 56 年 9 月 9 日

特許庁長官 島田春樹 殿

1. 考案の名称

ガタ

フラット・リボン型ケーブル

2. 考案者

サクラシムツザキ

千葉県佐倉市六崎 1440

フジクラデンゼン

サクラコウジョウナイ

藤倉電線株式会社 佐倉工場内

カタヒラタダオ
片平忠夫

(ほか 1 名)

3. 実用新案登録出願人

東京都江東区木場1丁目5番1号

(518) 藤倉電線株式会社

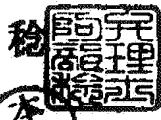
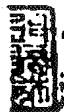
代表者 河村勝夫



4. 代理人

〒105 東京都港区虎ノ門1丁目13番4号 平沢ビル

(6507) 弁理士 阿部



実開58-38932

56 133092

方査式

343

明細書

1. 考案の名称

フラット・リボン型ケーブル

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 導体1のまわりにプラスチック絶縁被覆2が形成された絶縁心線3が複数本、一定の間隔で平行に配置され、かつこれ等の絶縁心線は導電性プラスチックより成るシールド層4を介して互に一体に固着されていることを特徴とするフラット・リボン型ケーブル。
- (2) 前記シールド層4の横断面形状が絶縁心線3の横断面形状とほぼ等しく成形されて成る実用新案登録請求の範囲第1項記載のフラット・リボン型ケーブル。
- (3) 前記シールド層4がほぼシート状に形成されて成る実用新案登録請求の範囲第1項記載のフラット・リボン型ケーブル。
- (4) フラット・リボン型ケーブルの長手方向の一部に、少なくとも1枚の金属箔5が被覆されて成る実用新案登録請求の範囲第1項または第2

項記載のフラット・リボン型ケーブル。

3. 考案の詳細な説明

この考案はフラット・リボン型ケーブルの改良に関するものである。

一般に、フラット・リボン型ケーブルとは、第1図に示されるように導体1の外側にプラスチック絶縁被覆2を押出被覆して成る絶縁心線3が複数本、平行に配置され、かつ各絶縁心線が互に固着され、全体としてほぼ平板状に形成されている。そしてこのケーブルは各種の電子機器の配線用電線として接続使用される。

その接続に際しては、例えば第2図に示されるように、U字形の接触子6とその接触子6の底部から延長される突子7とを有するコネクタ素子8が絶縁基板9に多数、植設されている多対コネクタが使用され、各導体1が一括して各接触子6に接続されることが公知となつてている。

ところで、前述のフラット・リボン型ケーブルにおいては、各導体間の距離しがきわめて短いため、隣接する導体間で漏話(cross-talk)

が生じやすい。このため各導体を1本おきに利用し、その間の導体をアースに落とすことがある。この場合において、アースに落とされた導体は単に接地線として使用されるだけである。したがつて、このような導体の使用のされ方はコスト的にも、また省資源的に見ても不経済といわざるを得ない。

この考案は前述の欠点を有利に解消したフラット・リボン型ケーブルを提供することを目的とする。

次にこの考案を図示の例によつて詳細に説明する。

第3図はこの考案の一実施例を示すものであつて、单線または撚線より成る導体1のまわりにプラスチック絶縁被覆、例えばポリ塩化ビニル(PVC)が被覆された絶縁心線3が、複数本、一定の間隔を置いて平行に配置され、かつこれ等の絶縁心線3, 3…は導電性プラスチック、例えば導電性PVCより成るシールド層4を介して各々一体に固着され、全体として平板状に形成されてい



る。そして前記シールド層 4 の横断面形状は絶縁心線 3 の横断面形状にほぼ等しくなつてゐる。

第 4 図はこの考案の他の実施例を示すものであつて、前述の絶縁心線と同様の絶縁心線 3 が複数本、平行に配置され、前述のシールド層と同様の材質のシート状(平板状)シールド層 4 を介して各絶縁心線 3 が一体に固着されている。

第 5 図はさらにこの考案の他の実施例を示すものであつて、第 3 図あるいは第 4 図において図示されたフラット・リボン型ケーブルの長手方向の一部に少くとも 1 枚の金属箔 5 が被覆され、この金属箔は各シールド層 4 に導通されアースを取るために使用される。なおこの金属箔 5 をケーブルの長手方向に沿つて複数枚、間欠的に設けてよい。

この考案によれば、導体 1 のまわりにプラスチック絶縁被覆 2 が形成された絶縁心線 3 が、複数本、一定の間隔で平行に配置され、かつこれ等の絶縁心線 3 は導電性プラスチックより成るシールド層 4 を介して一体に固着されているので、多対

コネクタを使用して各絶縁心線の導体を一括して電気的、機械的に接続する際に、多対コネクタの接触子が各導体1はもとよりシールド層4にも食込み、アースを取ることができる。さらにまた各導体間にはシールド層が存在するので隣接する導体間の漏話防止にきわめて有効である等の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

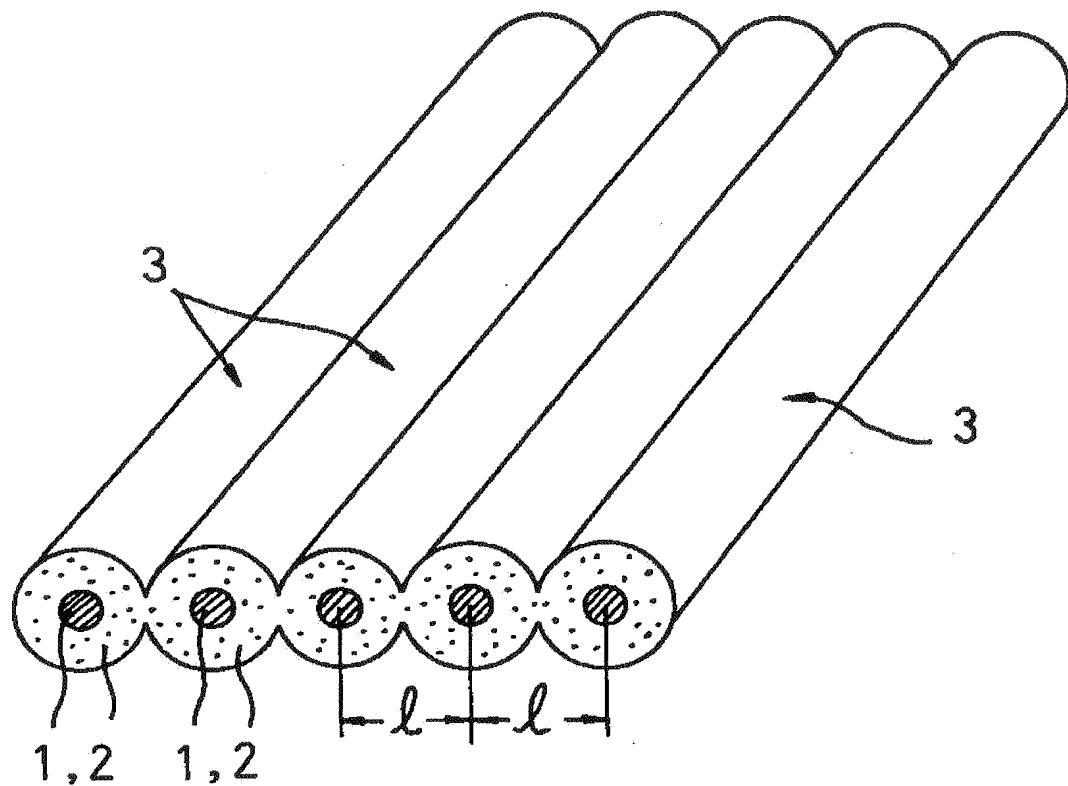
第1図は従来のフラット・リボン型ケーブルを示す斜視図、第2図は公知の多対コネクタによるフラット・リボン型ケーブルの接続状況を示す横断面図、第3図はこの考案の一実施例を示す横断面図、第4図はこの考案の他の実施例を示す横断面図、第5図はさらにこの考案の他の実施例を示す平面図である。

図において、1は導体、2はプラスチック絶縁被覆、3は絶縁心線、4はシールド層、5は金属箔である。

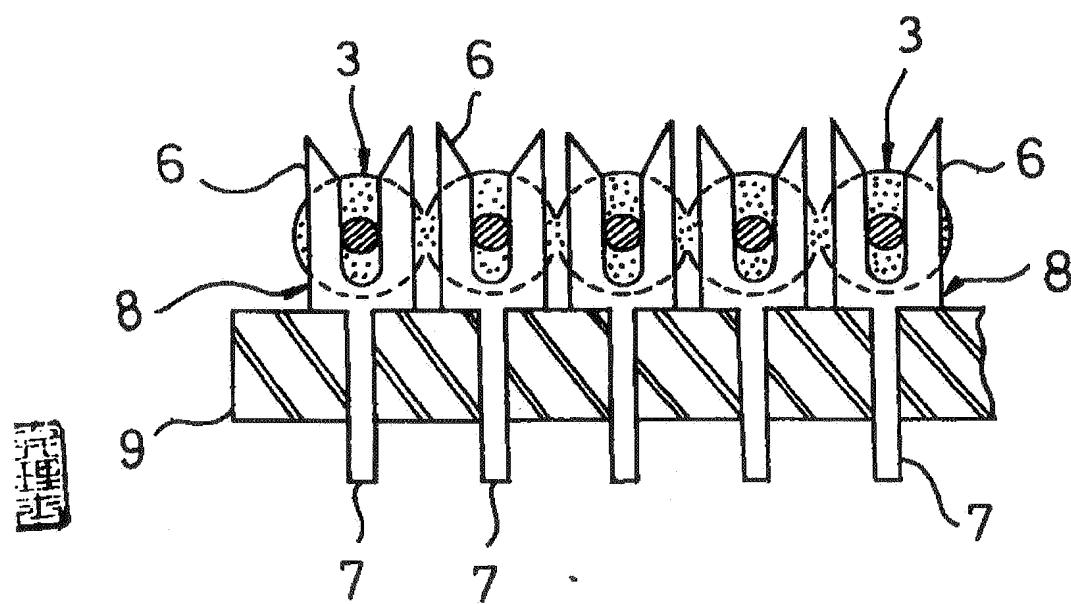
代理人 阿 部



第 1 図



第 2 図

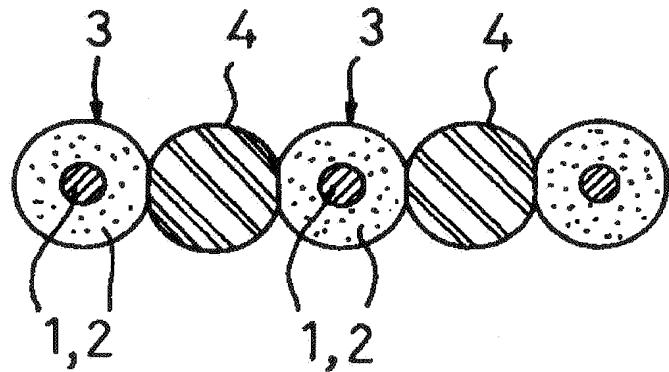


356
356

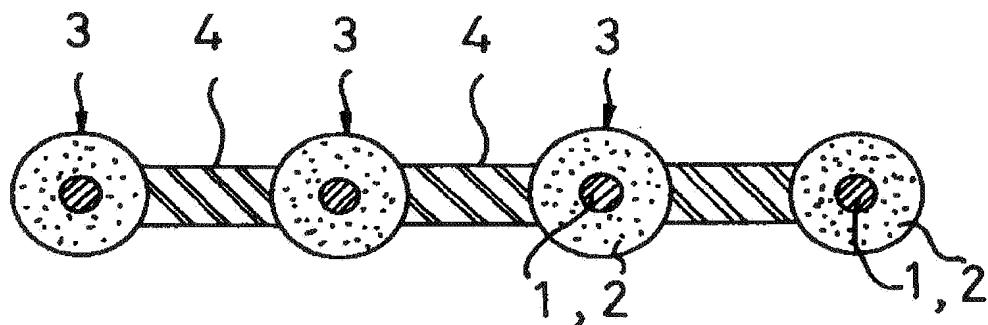
代理人 阿部 稔

実開58-38932

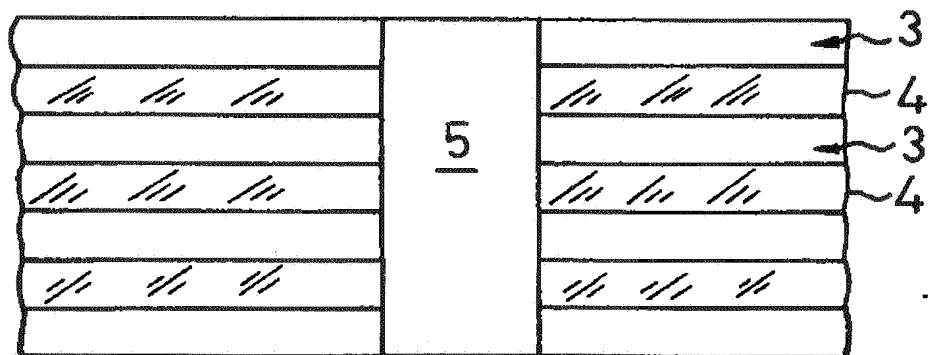
第3図



第4図



第5図



5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1	通
(2) 図面	1	通
(3) 委任状	1	通
(4) 願書副本	1	通

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人

(1) 考案者

サクラ シムツザキ
千葉県 佐倉市 六崎 1440
フジクラデンゼン
藤倉電線株式会社 佐倉工場内
スズキヒデオ
鈴木秀雄

